

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

市民まちづくり推進部・上田地域自治C

【令和2年度重点目標】

重点目標	地域内分権の確立に向けた地域主体の自治の推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<p>①住民自治組織の設立促進と組織運営、活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央地域（中央4地区）での住民自治組織設立促進 設立された住民自治組織の活動への支援 <p>②地域担当職員、協働推進員の機能向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域担当職員、協働推進員が市民協働の場において円滑に機能するための研修等の実施 <p>③地域協議会の今後のあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 第8期地域協議会にて検討 	<p>①年度末まで</p> <p>②年度末まで</p> <p>③第8期委員任期中（令和3年度まで）</p>	<p>①・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、中央4地区全体の枠組み協議は行われなかったが、北部地区で独自の勉強会が3回開催され、設立に向けた機運が高まった。</p> <p>・地域担当職員を通じた活動支援、情報提供及び組織への個別相談対応をそれぞれ随時行った。</p> <p>②・地域担当職員のスキルアップや情報共有のための会議を1回開催</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、協働推進員研修を資料送付により1回実施</p> <p>③地域協議会のあり方（上田地域の設置単位の見直し等）の検討について各地域協議会にて説明し、了解を得た。</p>
重点目標	参加と協働によるまちづくりの推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
2	<p>①自治基本条例の基本理念「参加と協働」の具体化</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治基本条例の見直し 基本理念を浸透・周知するための職員や市民への研修の実施及び協働推進員を通じた職員への周知と意識共有の向上 <p>②まちづくりの担い手となる人材の発掘・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民自治組織の担い手の発掘・育成を目的とした地域づくり人材育成講座の実施 <p>③市から依頼する委員、事業の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会の負担軽減を図るため、協働推進員を通じて関係課と協議の実施 <p>④住民主体のまちづくり活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 活力あるまちづくり支援金による支援（令和2年度新規事業） わがまち魅力アップ応援事業補助金による支援（継続事業のみ令和5年度まで） 市民活動団体の住民自治組織への参画を支援 	<p>①年度末まで</p> <p>②年度末まで</p> <p>③年度末まで</p> <p>④年度末まで</p>	<p>①・自治基本条例検証委員会及び庁内検討会を組織し、委員会を2回開催</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、協働推進員研修を資料送付により実施</p> <p>また、協働推進員を通じて職員へ基本理念等の周知を図った。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、講座開催の可否について受託者と協議を行った。</p> <p>③関係課との協議について、前期は未実施のため、後期の実施に向けて準備を行う。</p> <p>④・新設した「活力あるまちづくり支援金」の募集を2回行い、採択となった2件の事業を支援</p> <p>・今年度採択となった60件の事業を支援するとともに、補助期間終了予定の団体に対して、住民自治組織に関する情報を提供し、組織への参画を促した。</p> <p>・市民活動団体に対し、事業内容に応じて各種助成制度をはじめ、住民自治組織に関する情報を提供</p>
重点目標	移住・定住・交流によるまちづくりの推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
3	<p>①移住・定住の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 移住セミナーへの参加及び移住相談会の開催 移住体験ツアーの実施 空き家の利活用の推進 <p>（4）地域おこし協力隊員への定住支援</p> <p>②縁づくり及び市民交流の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 結婚につながる縁づくりの推進 同世代、異世代、移住者等の交流促進 <p>③ふるさと納税制度の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 魅力ある返礼品の開発と、きめ細かな情報の発信 ふるさと寄附金業務代行の速やかな導入 	<p>①移住・定住の推進（年度末まで）</p> <ol style="list-style-type: none"> 24回以上参加開催 2回以上実施 空き家バンクの物件及び利用者登録100件以上 任期満了後の定住 <p>②縁づくり及び市民交流の推進（年度末まで）</p> <ol style="list-style-type: none"> 婚活セミナー等を4回以上開催 定住自立圏での婚活セミナー等1回以上開催 各地域の現状把握 移住者交流会1回以上開催 <p>③ふるさと納税制度の推進（年度末まで）</p> <ol style="list-style-type: none"> 返礼品30品の増 2社以上のポータルサイトを新規に追加 9月までに導入、スムーズな運用 	<p>①移住・定住の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> コロナ禍のため、オンラインでの開催に変更（セミナー参加1回、相談会開催4回） コロナ禍のため、未実施 空き家バンク 物件登録 14件、利用者登録 90件、上半期成約件数 9件 今年度任期満了の3人が起業し、定住 <p>②縁づくり及び市民交流の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 39歳以下セミナー男女別で2回開催（参加者15名） 下半期にその他婚活セミナー4回、定住自立圏婚活セミナー1回を開催予定 同世代、異世代交流について、市内全11住民自治組織担当者から聞き取りを行い、現状把握と意見集約の実施。移住者について、下半期に交流会を開催予定 <p>③ふるさと納税 R2.9月末現在 寄附件数：10,641件、寄附金額：142,706,825円</p> <ol style="list-style-type: none"> 新規返礼品91品の増 ポータルサイトについては、下半期に2社（ANA、auPAY）導入予定 9月までに業者を決定し、引継ぎ完了

4	重点目標	多文化共生のまちづくりの推進と外国籍市民の社会参加支援の促進		
		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
		①「上田市多文化共生推進協会」を核とした多文化共生事業の推進	①総会1回、理事会2回の開催及び他組織連携による事業活性化	①コロナ禍のため、5月に総会資料を送付し書面決議を実施。5月に理事会は1回開催 専門部会（交流、学習）を6月～9月に合同で2回開催 外国籍市民を対象に食糧支援を3回実施し、のべ309人に食料品等を配布 地域雇用推進課と連携し、求職中の外国籍市民対象の「日本語セミナー」を5回開催し、のべ36人が参加 上田高校と連携し、高校生が研究した発表をもとに意見交換を実施
		②多文化共生のまちづくりの市民理解の浸透と自立支援の促進	②フェスタ、講演会等各1回、交流会2回、講座2～3回程度実施	②フェスタ、交流会についてはコロナ禍のため中止 外国籍市民を講師とした「気功教室」を、1月に開催予定で準備中
		③大人向け日本語教室への支援と、次世代(子ども)育成のための日本語教室の充実	③小中学校へボランティア派遣、教育・進学ガイダンス開催 県との日本語教室開講と、教室継続に向けた企画立案	③小中学校へ日本語学習支援のため、ボランティアを神川小学校ほか4箇所に通年で5人派遣 コロナ禍により教育・進学ガイダンスについては中止 県との日本語教室は10月より開催するため準備を行った。
		④外国籍市民への情報提供と相談窓口の継続	④多言語広報紙を毎月発行し、小中学校や会社へ配布	④ポルトガル語と中国語で毎月広報紙を作成し、ハローワークや会社等64箇所へ配布 8言語による特別給付金申請チラシや10言語による新型コロナウイルス感染予防チラシを作成し、61の関係機関や会社等へ配布
		⑤外国人集住都市会議と連携した国等への要望の実施	⑤ブロック会議7回、全体会2回、首長会議1回（国へ年1回要望）会員都市協議	⑤オンラインによる幹事会1回、書面やオンラインによる全体会4回実施。首長会議は中止とし、国への書面による提言を検討中
5	重点目標	地域の特性・特色を活かした取組や活動への支援		
		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
		①神科・豊殿の住民自治組織の活動支援、地域おこし協力隊事業、わがまち魅力アップ応援事業により地域振興を支援、神科・豊殿地域協議会、自治会連合会への支援（豊殿地域自治センター）	①年度末まで	①・神科まちづくり委員会（役員会2回、5部会延べ14回）、豊殿まちづくり協議会（役員会3回、4部会延べ12回）の会議開催などの活動を支援 ・棚田を中心とした地域振興に取組む協力隊員の活動を支援、わがまち魅力アップ事業では4事業を支援 ・地域協議会を2回開催し、円滑な運営を支援 ・自治会要望、行政懇談会の取りまとめを支援し、自治会連合会の会議に出席して連携を図る。
		②住民自治組織の活動支援、地域おこし協力隊やわがまち魅力アップ応援事業による地域活動への支援、地域協議会及び自治会連合会への支援（塩田地域自治センター）	②年度末まで	②・塩田まちづくり協議会は役員会3回、6部会延べ26回の開催を支援 ・地域おこし協力隊による地域活動を支援、わがまち魅力アップ応援事業は継続7件の事業を実施中 ・地域協議会は1回の会議開催を支援 ・自治会連合会は役員会2回や行政懇談会の要望とりまとめを支援
		③住民自治組織の円滑な事業運営の支援、地域おこし協力隊やわがまち魅力アップ応援事業による地域活動の支援、地区自治会連合会及び地域協議会への支援（川西地域自治センター）	③年度末まで	③・川西まちづくり委員会（運営委員会2回、4部会延べ11回）の会議開催などの活動を支援 ・わがまち魅力アップ応援事業(3事業)を支援、地域おこし協力隊員による地域活動団体の支援及び地域の魅力を発信 ・自治会連合会では要望事項(35項目)の取りまとめなど運営を支援し、地域協議会(2回)の開催を支援
6	重点目標	人権を尊重し男女が等しく参画する地域社会形成への意識の醸成		
		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
		①人権等に関する相談・支援体制の整備・充実	①人権相談 常設相談、特設相談の実施	①人権悩みごと相談（法務局週3回）を実施。なお、コロナ禍により、6月から9月は電話相談
		②男女共同参画啓発事業の推進及び第4次男女共同参画計画策定のための市民意識調査の実施	②市民フェスティバル1回、講演会・講座各2回以上、女性団体研修会1回、男女共同参画推進事業者表彰実施 10月に市民意識調査の実施、3月に報告書作成	②市民フェスティバル、主催講演会、講座、女性団体研修会等はコロナ禍により中止 広報うえだ9/16号にて男女共同参画を積極的に推進している事業者を表彰するため、募集記事を掲載 市民意識調査の内容を検討
		③平和啓発事業の更なる推進	③新規会場を含めたパネル展の実施、他部署等と連携した祈念事業の実施	③原爆パネル展示を市内公民館、自治センター等9か所で7月下旬から8月下旬に開催 「平和大行進」、「反核平和の火リレー」への協力支援
		④市民プラザ・ゆう事業の推進	④主催講座13講座・女性相談（週2回）と弁護士相談（月1、2回）開催	④9月から「3級ファイナンシャル・プランニング技能士資格取得支援講座（全10回）」を開講し、第1回目を実施。また、「アウトドアから学ぶ！子どもの命を守る防災講座」はコロナ禍ならではのZoomによる開催とし、50名が参加した。女性相談員によるなんでも相談を週2回、弁護士相談(奇数月2回、偶数月1回)を実施。6月までは対面ではなく電話による相談を実施
7	重点目標	マイナンバーカードを活用したコンビニエンスストアでの証明書交付による利便性の向上		
		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
		①マイナンバーカード交付率の向上とコンビニエンスストアでの証明書比率の向上を図る。 毎月1回は予約制による休日マイナンバーカード交付窓口の開催	①交付率 目標15.5%、コンビニエンスストアでの証明書比率 6.5% 毎月1回：予約制による窓口申請・交付	①交付枚数率（10月1日現在）16.5%（進捗106.5%） 毎月最終日曜日の休日マイナンバーカード交付窓口を実施 9月からは毎月2回（第2土曜日、最終日曜日）交付窓口を実施 コンビニエンスストアでの証明書比率（10月1日現在）7.5%（進捗115.4%）
		②大型商業施設等にてマイナンバーカード取得推進キャンペーンを実施	②6月、11月、2月	②新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止の観点から見送り 今後、状況を見ながら、豊殿・塩田・川西地域自治センターにおいて出張申請受付を実施する予定
		③官公庁や企業への出張受付の実施	③合同庁舎等	③新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止の観点から見送り

※ 評価基準 [◎：目標を上回る進捗] [○：目標どおり進捗] [△：未進捗の部分あり] [×：全て目標未進捗]